

車両情報

マツダ アクセラ

平成15年10月～

BK系

1/3ページ

ES-89Light

Type

N.L.

Opt.

※3/3ページの注意事項参照

①イモビライザー無し車のみ

## ◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

①各配線の取り付けについては、2/3～3/3ページをご覧ください。

### ①専用ハーネス (M111A・VM111A) のケーブル引き出し方向について

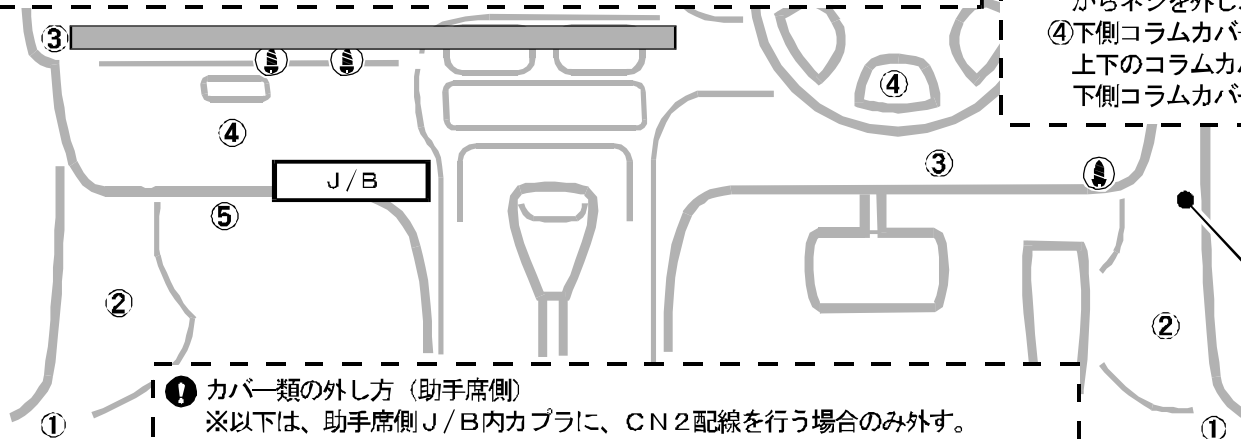
※キーシリンダに割込接続する、専用ハーネスのカブラ (レバー付きのカブラ) からのケーブル引き出し方向は、取り付けする車両のキーシリンダ周辺の配線の引き回しに合わせて、必要により配線処理のしやすい方向に変更することができます。手順は、以下のとおりです。

- ①専用ハーネスのカブラ (ハーネス側) の黒色プロテクトカバーを外す…プロテクトカバーは、上下 (各2箇所) にあるツメを、細めのマイナスドライバー等で外せば、簡単に外れます。
- ②ケーブル引き出し方向を変更後、プロテクトカバーを元のとおりに取り付けする…カバー上下 (各2箇所) のツメが、カブラ側に確実にロックして固定された (外れない) ことを確認してください。

### ①カバー類の外し方 (運転席側)

※以下の部品を順番に外す。

- ①右サイドステップカバー
- ②右足元サイドカバー (ファスナ1個外して、手前に引っ張る)
- ③ロアカバー (レバーの裏にネジ1本)  
ボンネットフードレバー上側のツメを、マイナスドライバーで外してから、レバーを手前側に引いて外す。レバーを外してからネジを外し、ロアカバーを手前に引っ張って外す。
- ④下側コラムカバー (ネジ3本)  
上下のコラムカバーが外れたら、キー照明のネジ2本を外すと、下側コラムカバー単体が外れる。



### ①カバー類の外し方 (助手席側)

※以下は、助手席側 J/B 内カブラに、CN2 配線を行う場合のみ外す。

- ①左サイドステップカバー
- ②左足元サイドカバー (ファスナ1個外して、手前に引っ張る)
- ③飾りパネル (メーター左からグローブBOX上側への一体パネル)  
メーター側から徐々にパネルを浮かせながら、5箇所のクリップを外していく。  
一番左側のクリップは、パネルを右方向にスライドさせて外す。
- ④グローブBOX (上側に六角ネジ2本)  
ネジを外してから、全体を手前に引っ張りクリップ6箇所を外す。
- ⑤ロアカバー (クリップ2箇所)

止めネジ等



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成14年11月 7日 作成  
平成20年 6月 3日 更新

BOX No.141606

車両情報

マツダ アクセラ  
平成15年10月～

BK系 2/3ページ

ES-89Light

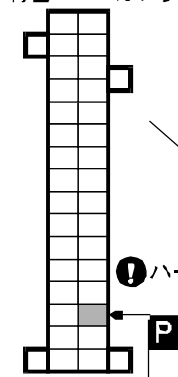
Type N.L.

Opt.

※3/3ページの注意事項参照

① イモビライザー無し車のみ

J/B上側の左  
青色32Pカブラ



① ハーネス側視

Pブレーキ(橙)  
黒/薄緑

① Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

A/T車設定が必要な行のみのみ

(A/T車設定作業について) 配線・受信機取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ① 車両のキースイッチをONにする。
- ② リモコンでSTOPを押す。
- ③ 車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。
- ④ 車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤ 設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)  
車両配線色

コラム内左上側  
キーシリンダ直付け



- ① 専用ハーネスの取り付け手順
- ① 車両側カブラのレバーを下方向へ完全に倒す。(カチッと音がするまで)
  - ② カブラを外す。
  - ③ 専用ハーネスのカブラを割込接続する。(カブラを先に奥まで差し込んでから、レバーを戻してロックする)

① CN2のPポジション(青色)配線を必ず接続してください。また、下記の手順でフットブレーキを使用して、A/T車設定を行ってください。

① CN2のL端子(茶色)配線は接続せず、オート検出にて使用してください。

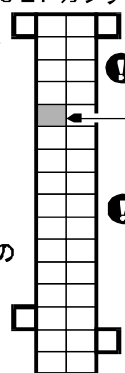
① ドアロック/アンロックの取り付けについては、3/3ページを参照してください。

フットブレーキ上側  
白色4Pカブラ



① 必ず配線してください。(通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V)

J/B下側  
2個ある左側  
32Pカブラ

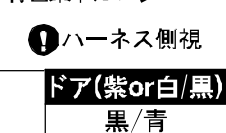


① ハーネス側視

バックドア(白/黒)  
黒/赤

① バックドアの開閉検出をする場合に配線をする。ドア検出ユニット(別売)が必要です。

J/B下側の左  
青色集中カブラ

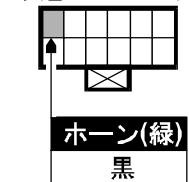


① ハーネス側視

ドア(紫or白/黒)  
黒/青

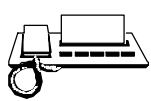
① バックドア以外の全ドアの開閉を検出。

コラム内左下側  
黄色12Pカブラ



① エアバッグの配線もあるので、カブラは絶対に抜かないこと。

① 機能付き機種のみ配線



# Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

平成14年11月 7日 作成  
平成20年 6月 3日 更新

BOX No.141606

車両情報

マツダ アクセラ  
平成15年10月～

BK系 3/3ページ

① イモビライザー無し車のみ

ES-89Light

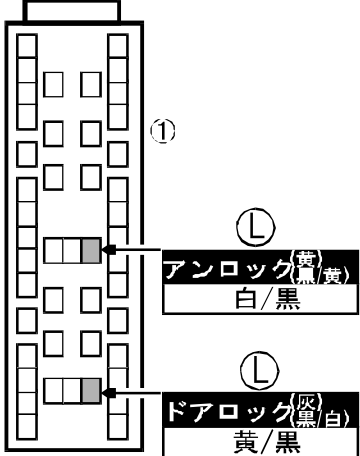
Type N.L.

Opt. ※3/3ページの注意事項参照

① アドバンストキーレス付き車

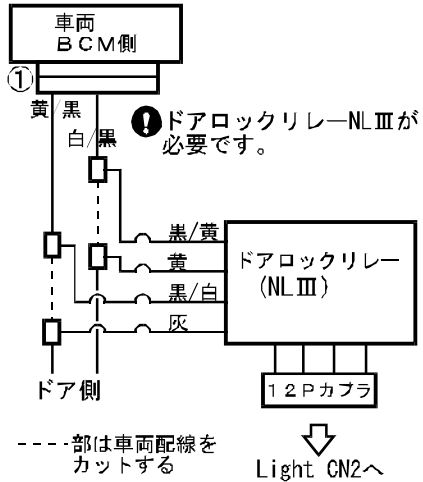
ドアロック・アンロック

J/B下側の左 青色集中カブラ



① アンロック(黄/黒)  
白/黒

① ドアロック(灰/黒)  
黄/黒



配線内容(受信機CN2線色)  
車両配線色

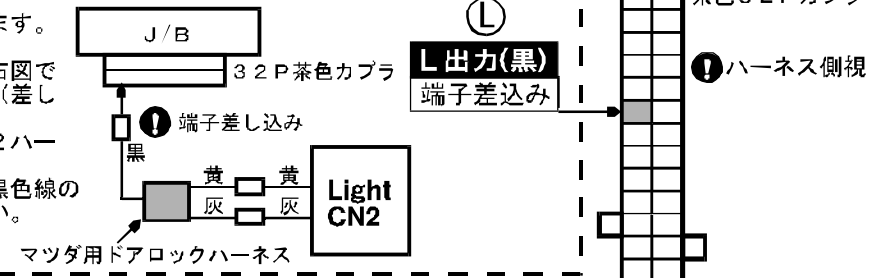
① 注意事項  
アドバンストキーレスエントリーシステム付き/無しで、取り付け方法が異なります。(別売オプション)

付き車…ドアロックリレーNLⅢ (EP070) が必要。  
無し車…マツダ用ドアロックハーネス (EP087) が必要。

① 特有の注意事項  
※オートロック機能は、使用できません。

ドアロック・アンロック

① マツダ用ドアロックハーネス (別売: EP087) を接続します。茶色32Pカブラを黒色のレバーを手前に倒して抜いてから、カブラ左右のリテーナーをマイナスドライバーで浮かして、右図で指定した位置に黒色線の端子を確実に差し込んでください。(差し込み後リテーナーを元に戻す) 取り付けしたドアロックハーネスの灰色線と黄色線は、CN2ハーネスの灰色線と黄色線にそれぞれ接続してください。左図の場所に既に配線がある場合は、ドアロックハーネスの黒色線の端子を切断して、エレクトロタップにて割込接続してください。



① この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

# 車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

平成19年 9月 1日

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

### ■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



(例)

❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VM108EがVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

### ■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

## ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。  
なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。